

明智荘に思いを寄せて

いよいよ放送がスタートする大河ドラマ「麒麟がくる」。主人公・明智光秀の母「牧」を演じる石川さゆりさんに、ドラマへの思いなどを、市長が伺いました。(文中敬称略)

明智光秀の母「牧」
光秀の幼少時、死んだ父の代わりに「武士としての心構え」を論ず、厳しくも心優しい母。



明智荘はとにかく穏やかで、人はみんな心が優しく豊か。そんなところで光秀が大きく成長していきます

市長 お久しぶりです。今日はありがとうございます。よろしくお願いします。

石川 お久しぶりです。こちらこそよろしくお願いします。

市長 石川さんは、5年前に一度、可児市へいらっしやいましたよね。可児にはかつて明智荘という荘園があったんですが、ドラマで描かれる明智荘は、どんなところですか。

石川 光秀の母ですから、私はほと

んど明智荘にいますね。明智荘は、とにかく穏やかで、何かこう、みんなが楽しそう。経済的に豊か

ってことではないんだけど、とても心が優しく豊か。お金をかけたきらびやかさではない。明智荘の人たちはなんだかとても心が温かい、そしてこの牧という女性にしても、着ているもの、目指しているものや、光秀に伝えたいことも、そんなきらびやかなことではない。ただ忘れてはいけない大事な優しさだったり強さだったり、いろんなことを伝えようとしていると思うんですね。そこで光秀が母と共にどう暮らして、また

これから大きく成長していくのかなあ、っていうところなんですね。

一年を通して作りあげていくエネルギーが視聴者の皆さんに届くのが、大河ドラマなんです

市長 石川さんは、以前にも大河ドラマに出演されましたが、今回はいかがですか。

石川 私は歌を47年歌ってきましたけど、もちろん歌もスタッフさんをはじめ大勢で作るんですが、ステージの真ん中に立つのは一人なんです。でも、大河ドラマのチームに参加させていただいて、一年を通してドラマを作るのに、キャ

ストはもちろんスタッフの方たちの数が、ものすごいんですよ。テレビに映っていない、それこそすごいドラマがあるんです。そのエネルギーが皆さんに届くんだなあっていうのを感じますね。やっぱり、お話を一年通してこうして大勢で作りに上げていく、重ねていく、というのはすごいことだと思えます。顔合わせで集まったとき、全員の方は参加できてないんですけど、うわあ、こんなに大勢の皆さんで大河ドラマを作るんだな、という気持ちになりましたね。

人の心、愛する心という人間ドラマは、時代が変わっても繰り返される、普遍的なものです

市長 今回のドラマの時代背景は戦国時代ですよ。現代とは全然違うと思えますが、演じられていて特別な感想ってありますか。

石川 戦国時代ですから、人がいつでも心変わりして、誰に付いて、殺し合い、または生き延びていくのか、ドラマの中にそういうのが、いっぱい散りばめられているんです。でも、時代が変わっても、人の心や愛する心っていう人間ドラマは、普遍的に変わらず繰り返さ

1月11日(土)
正午開館!

明智光秀博覧会2020 in 可児市 麒麟がくる ぎふ可児 大河ドラマ館

大河ドラマ「麒麟がくる」の初回放送日が1月19日に延期されたことに伴い、上記イベントの開催について関係機関と調整した結果、広報かに12月号でお知らせしたとおりの日程で開催することになりました。ぜひご来場いただき、明智荘で光秀の世界をお楽しみください。



特設サイト

明智光秀肖像画(本物)が可児にくる!

1月11・12・13日

1月18・19・25・26日

場所 明智光秀博覧会2020 in 可児市(光秀ゾーン) 場所 可児郷土歴史館



れていることですからね。大河ドラマって時代がずっと昔のことなんだけど、皆さんもきつと、今の自分たちと重なり合って面白い。私も台本を読ませてもらってどんな読みか。歴史のことも知ることが出来ますけど、それだけじゃない、律していかなければいけないこととか、人への思いとか、色んなことを面白く読ませていた

だいています。

最初は継母になるような気分だったんですが、いつの間にか、日常会話でも本当のお母さんになっっている感覚がとても嬉しい

市長 「麒麟がくる」では主人公、光秀のお母さん役ですね。我が子光秀にどんな思いを抱いて演じられましたか。

石川 撮影がスタートした頃は、光秀はどんな人なんだろう、私はその人のお母さんにならなければいけない。まるで、継母になるような感じですよ、よそっばい感じ。収録が6月からスタートしたのかな、お稽古やロケやスタジオで会ったりしていますと、次第に、ライン交換したりしてね。「お腹を壊しました」とかね、そういうことも言ったりして、「それはね、お腹を壊したんじゃない、疲れているのと風邪気味じゃないか」と思う、ゆっくり休みなさい」とかね。

市長 本当のお母さんになっちゃうわけですね。

石川 そうそう、いつの間にかね。そんな会話をしているとこののがとっても嬉しいですね。こういった

感じでドラマが作られていくんだなって思っています。伝承ですが、光秀の正室照子さんは、結婚直前の病で痘痕ができた。で、照子さんのご両親は代わりに妹を嫁がせようとしたんですが、光秀は、僕のお嫁さんになる人は照子さんですと言いつつ。そういうところにも、光秀の人間性を感じて、ああ、素敵な男性だったんだなあ。そういう人間っぽい、いろんなものを見ていただきたいと思います。

子を思う母の思い、それを少しでも感じていただけたらと思います

市長 将来土岐明智家を統率していく宿命をもった我が子を育てる。そんな「牧」という母親を演じられてどんな思いですか。

石川 新たな時代がスタートして、新しい天皇陛下が誕生されましたけど、子どもの頃からどんなすごい教育をされているのかな、とか思うじゃないですか。でも私は、そこまで分らないですけど、子を思う母の思い、それは少しでも感じられるような気がします。その中で台本を読んで、ああ、こういうことなんだなって思いながら、光秀への接し方とかを考えて

います。もうとにかく素晴らしいんですよ、台本が。早く見ていただきたいと思いますね。

器にも温かみがありますね

市長 5年前、可児へいらつしゃったときは覚えていますか。

石川 はい、アールで恋文の朗読をさせていただいて。私は陶芸に興味があって、荒川豊蔵資料館の見学もさせていただきました。

市長 そのようですね。実はその豊蔵先生のお弟子さんで、著名な陶芸家の先生から、石川さんへのプレゼントを預かってまいりました。こちらです。

石川 え？私にですか？ありがとうございます。いいですね、手の収まりがいい。なんだかとても温かい作品ですね。可児市にはいろんな歴史や焼きものがありますね。さらに世界的なギターのメーカーもあって、市民の皆さんも音楽も

えると嬉しいですね。そして、また石川さゆりも歌いに行かせてください。

好きかなあって。可児市をもっとメジャーにしていきたいですね。今日、私、市長に可児ってどんなところなのかなあってお伺いしたいと思っていたんです。

大河を見てくださる方が可児市を訪れ、また市民の方も、明智荘のこと、明智一族のこと、光秀のドラマを、肌で感じてほしい

市長 若い人たちは、このままの可児をずっと守ってほしいって言うんですよ。都会みたいなのにぎやかにならなくてもいい。ほどほど便利で自然があって、昔から知っている人が一緒にいて、というね。だからそこが良さかなあ。現在の明智荘、可児市は字のごとく「穩やかにくらせるまち」「可能性あふれる児」のそだつまちを目指します。ぜひ、また可児市へおいでください。

石川 大河ドラマを見てくださっている方々が、可児市へ行ったときに、ドラマの明智荘のような温もりを感じたり、文化があったり、焼きものがあったりして、これもまた面白いんだなあと思ってくださったり。可児市民の皆さんも、毎週大河ドラマを観ながら「あ、こ



このお話なんだな」とか「こういうところが出てくるんだ」と身近にあっても意外と知らない明智荘のこととか、明智一族や光秀のドラマ、人間性、そういうものを感じてくれたら嬉しい。自分たちの暮らしている地域はこういうところなんだというのがあれば、皆さんもより一層愛着が湧くでしょう。またきつと大河ドラマを見て、明智荘はどこなんだらうって、訪ねる人がたくさんいらつしゃると思います。私もまたぜひお邪魔したいと思います。

市長 今度歌も歌ってくださいね。

石川 歌いたいですね。皆さんに聞いていただきたいですね。可児を訪れて私も明智荘を感じたいです。私の光秀への母の思いを、ステージで語りたいと思います。

市長 では最後に、可児市民の皆さんへ一言、メッセージをお願いいたします。

石川 いよいよ大河ドラマが始まりますので、ぜひ私たちのまちの話なんだな」と毎週楽しみに見てもら



今回の対談を終えて、石川さゆりさんの、明智荘への強い思いを感じました。そんな思いをもって撮影されたドラマがたくさんの人に見ていただけると思うと、とても嬉しくなりました。大河ドラマ、楽しみます！